

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第56号

発行／いずみ会 編集／いずみ会広報部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内

事務所 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号

ホームページ <http://www.izumikai.com/> e-Mail izumikai@v7.com

主な記事

- 2・3 執行部
- 4～8 母校関係
- 9～11 緑蔭
- 12～13 新校舎紹介
- 14～16 サークル・同期会
- 17 声・訃報
- 18～23 寄付者・会費納入者一覧
- 24 総会ご案内

ごあいさつ

いずみ会会長
高津 幸一



5月に会長に就任致しました。高校13期の卒業です。役員一同を代表して会員の皆様の御支援のほど宜しく願い申し上げます。

いずみ会の役員は、いずみ会規約により、任期は2年であり、最高議決機関である評議員会において選任されます。その評議員会は各期から選出された評議員

員によって構成されています。このように申しましたのは、あらためて制度を御認識賜りたく、今年の同期の評議員は誰であったかその顔を思いおこしていただきたいとの願望から出ております。

今年の定時評議員会は母校の視聴覚ホールで開かれました。都立高校のイメージを一新するような立派な階段教室です。これまで本会報におきましても新校舎のことは何度も触れて参りましたが、遂にこの春に落成いたしました。11月18日の本年度の総会も母校をお借りして開催されます。新校舎を見たいとお気持ちを胸に多数ご参加ください。

我々の愛する母校大泉は校長先生も教職員の方々も生徒諸君も保護者の皆様も、そしてまた設置者による東京都の関係各位も皆これを愛し、良くしようと努めています。その中において我々同窓生はその大きさ、深さ、永さ、そして優しさにおいてまず第一であると自負しております。

ところで、現代の社会において、理想を失った目先の行動が横行し、人々に精神の疲れを催させます。いずみ会は、母校と共に、安心感を土台として、同窓生の思考を柔軟にし、精神の平衡を回復し、意欲的活動のための温床を提供するものと信じます。

いずみ会の会員は伝統の上に立って常に風格ある行動を心がけ、もって我国産業の隆盛と民主国家の維持に貢献してきております。いずみ会の役員はこれを少しでも後押しできるよう努めたいと存じます。

新役員紹介

平成24年5月26日の平成24年度定時評議員会におきまして下記の役員が選任されました。2年間よろしくお願いたします。

- | | |
|-----|---------------------------|
| 会 長 | 高津 幸一 (高13期) |
| 副会長 | 松岡 五郎 (高5期) |
| | 片山 隆 (高8期) |
| | 大高 光蔵 (高13期) …人材バンク部長兼任 |
| 理 事 | 有田 二郎 (高6期) …会員情報部長 |
| | 二宮 靖子 (高8期) …広報部長 |
| | 青木 隆 (高18期) …事務局長 |
| | 山口 達夫 (高20期) …会計部長 |
| | 荒井真理子 (高20期) …総務・企画部長 |
| | 須藤 一彦 (高9期) 荒井 亮三 (高12期) |
| | 布施百合子 (高14期) 村上 広 (高15期) |
| | 鈴木三枝子 (高18期) 別所 信子 (高18期) |
| | 榊原 章人 (高18期) 田村 明子 (高19期) |
| | 小林 憲一 (高20期) 中川 恵 (高20期) |
| | 真柳 仁 (高24期) 山川 新 (高24期) |
| 監査役 | 寺島 隆 (高18期) |
| | 佐久間優行 (高19期) |
| | 宇多 正行 (高25期) |
| 顧 問 | 石井 岱三 (高6期) |
| | 早川 淳 (高13期) |



新役員の皆様

本年度

いずみ会総会・懇親会 (於 母校・勤労福祉会館 (予定))

平成24年11月18日(日) 午後12時30分より受付開始 (詳細は24頁をご覧ください)

定時評議員会報告

総務・企画部長 荒井 眞理子

平成24年5月26日、4月から新校舎でスタートを切った母校の視聴覚ホールをお借りして平成24年度定時評議員会が行われました。母校より、菊地芳男校長、大島良副校長、南和男附属中学校副校長のほかPTA顧問の方々にもお見えいただきました。早川淳会長より、2期4年間の任期中に年間延べ1,200名を超える会員相互の親睦活動、母校へのキャリア教育、英語講座等人的支援、支援金の準備等いずみ会の活動を活発に、無事に終えることができ会員の皆様にご感謝していると挨拶がありました。母校校長の菊地先生からは、今年で3学年が揃った中学生の日常の学校生活がプロジェクターによる映像を使って紹介され、積極的に意欲的に日々取り組む姿に感心。また高校生が中学生に見せる優しさや影響が大で、喜ばしい結果となっているとの報告もありました。

定刻を少し回った13時15分に荒井亮三理事から評議員会成立の報告があり、(定足数208名：出席者89名(最終112名)、委任状240名、合計329名)、議長に大申康夫評議員(高14期)が選出され、審議に入りました。

まず1名欠員となっていた監査役選任補充の件では中川恵氏の選任が承認されました。

続いて大高光蔵事務局長から平成23年度の事業報告があり、円形校舎最後の総会が開かれたこと、会報掲載広告が大幅に増えたこと、母校キャリア教育、英語教育に多くの同窓生が協力してくださったこと、サークル活動も含め会員相互の親睦がより深められていることが挙げられました。次に山口達夫会計部長より収支決算報告がグラフなど映像で流し、わかりやすく説明され、収支としては414千円の黒字の報告がなされました。

片山隆監査役から執行部門、会計部門とも

適正且つ公正に活動が行われていると報告され第2号議案は承認されました。

続いて第3号議案の平成24年度事業計画、並びに予算案では、将来に対する運営体制の充実を図るため、規約や収入の仕組みを、時代にふさわしいものにしていくように努めていますことなど報告され、承認されました。

第4号議案の平成24年度新役員選任の件で、高津幸一副会長から候補者が紹介され、承認ののちあらためて新役員として紹介されました。その後森田陸四郎評議員から「早川前会長を顧問に」との動議が提出され賛成多数で顧問委嘱が承認されました。

最後に「2の会」代表肥沼年光代表から「ここにこっこり大泉」11月18日に総会・懇親会を皆さんと楽しみたいとの予告があり平成24年度定時評議員会は終了いたしました。

平成23年度 いずみ会事業報告

いずみ会は規約および平成23年度事業計画に基づき、次の事業を行った

第1. 総会の開催

- 平成23年10月23日(日)に母校円形校舎1階にて開催した
- 前半の総会は理事会の進行で、いずみ会の平成23年度事業報告・決算報告と平成23年度事業計画・予算が報告された
- 後半の懇親会は練馬区立勤労福祉会館で、「1の会」の企画・運営により行われた
- 総会参加者は185名、旧校舎での催事はこれが最後となる

第2. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第55号を平成23年10月1日に発行した。主たる記事は次の通り
 - ・いずみ会・早川淳会長あいさつ
 - ・定時評議員会報告
 - ・広告掲載(広告紙面を増やす)
 - ・平成22年度事業報告・収支決算報告、平成23年度事業計画・予算
 - ・いずみ会行事等報告
 - ・会員情報(同期会情報等)
 - ・母校関連事項
 - ・ページ数を4ページ増加(20ページになる)
 - ・会費等支払者名の文字を拡大
 - ・サークル活動報告
2. ホームページの改善
 - ・窓口専任理事を置きニュース性を高めた
 - ・メンテナンスおよび管理体制の見直しを始めた

第3. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向け、会合を開催した
2. 「高校64期の名簿」を作成し、高校64期へ配布した

第4. 将来に向けての運営体制の拡充

1. いずみ会室の備品の老朽化と母校取り壊しに伴ういずみ会資料等の保管場所の確保、会議・サークル活動の開催場所の確保等に対処するため、取り急ぎいずみ会室を整備、補修した
2. 次世代への移行めざし、行動の伴う・役員候補と幹事の確保を進めた
3. コンプライアンスの遵守と、役員・幹事の活動経費に思いをいたし、内規の見直しを行った

第5. 母校との連携

1. 母校の発展に寄与するため、社会人講話その他の学校の諸活動や、母校の部活動への支援を積極的に行った
2. 平成24年3月13日、卒業式前日に「いずみ会入会式」を開催した
- 同日の卒業式予行の際、3か年皆勤者18名に、いずみ会より副賞を贈呈した
3. 新入会員の登録促進と入会金の納入促進を目

的に、役員7名が3年生全7クラス・ホームルームに向き、いずみ会の話を通し、理解と協力を求めた

4. 社会人講話を、平成24年2月18日に高校1、2年・全10クラスに向き行した
5. 中学2年生・120名に対し、平成23年7月22日(金)～24日(日)の3日間、英語教育支援の為、海外で生活をした人、英語教育経験者等、延べ30名を講師として派遣した
6. 母校の諸行事に積極的に参加した
 - ・入学式・平成23年4月7日・6名
 - ・体育祭・平成23年5月13日・市立武蔵野陸上競技場・7名
 - ・卒業式・平成24年3月14日・6名
 - ・9月11日～12日開催の母校文化祭では、「1の会」と共に、いずみ会のブースで、懐かしい母校生活の写真や、各期卒業アルバム、いずみ会文庫の展示を行い、大いに交流を図った。1,115名の記録的な来場者で、大いに盛り上がった。

第6. 人材バンクの活性化

1. 母校からの講話、講演依頼等への対応、いずみ会の諸活動への対応を考え、様々な分野で活躍する人材を積極的に登録し、速やかに活用できる登録者名簿の整理・管理を行った
2. サークル活動状況
 - ・日本古典文学講座は、24年1月より「源氏物語」を毎月第4木曜日開講(グランフォンテ)
 - ・英語教室は毎月第3火曜日開講(グランフォンテ)
 - ・茶の湯(茶道教室)は毎月第2、第4日曜日に開催(櫻さろん)
 - ・囲碁同好会は毎月第3水曜日に開催(いずみ会室)
 - ・健康麻雀教室は第1、第3火曜日、レディース対象に第2、第4金曜日に開催。(いずみ会室)
 - ・まんぼう会は、5月東大・本郷界限・7月尾瀬ハイイク・2泊・9月向島百花園とスカイツリー・11月巡視船で東京港を視察・3月NHK放送博物館見学と桜を楽しむ
 - ・サークル交流会・1月豪雪の津南で雪を楽しむ・2泊・8月JAZZを楽しむ会を開催

第7. 財政管理

1. 平成23年度予算はいずみ会室の移転費用等を組み、32.4万円の赤字予算承認をいただいたが、いずみ会室の設備改善に留めたため、41.4万円の黒字となった
2. 財政改善対策については、中長期を見据え、収入の仕組みの検討と経費の節減を続けている。
3. 会報への広告掲載による収入が36万円あった

第8. 評議員会の開催

1. いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成23年6月4日(土)に勤労福祉会館にて開催し、各期評議員114名が出席した(委任状を含め329名)
2. 「平成22年度事業報告と収支決算」並びに「平成23年度事業計画と予算」が承認された

第9. その他の事項

いずみ会の活動を推進するため、平成23年度

の評議員会から平成24年度の評議員会までの間、次の事業を行った

1. 理事会の開催(9回)
2. 監査会の開催(中間監査と期末監査の2回開催)
3. 各評議員の登録更新
4. 役員改選に向けての準備作業

平成24年度 いずみ会事業計画(案)

いずみ会は規約に沿って、平成24年度に次の事業を実施する

第1. 総会の開催

平成24年11月18日(日)、母校・新校舎にて開催する。前半はいずみ会の活動や母校関連事項の報告、後半は「2の会」の企画運営による懇親会を行う

第2. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第56号を平成24年10月1日に発行予定とし、主たる記事は次の通り。
 - ・平成23年度事業報告・決算報告、平成24年度事業計画・予算
 - ・新役員紹介
 - ・いずみ会行事等報告
 - ・会員情報(同期会情報等)
 - ・母校関連事項
 - ・サークル活動
2. ホームページの改善
 - ・コンテンツの充実、タイムリーな情報提供をめざし、管理体制の見直し

第3. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向け、各期会員情報幹事の確認と積極的な会員情報報告を促す
2. 「高校65期の名簿」を作成、配布する

第4. 将来に向けての運営体制の拡充

1. 規約、収入の仕組みなどが時代に合わなくなってきたため、再構築するためのワーキンググループを作り検討していく

第5. 母校との連携

母校の発展に寄与するため、社会人講話その他の学校の諸活動や、母校の部活動への支援を積極的に行い、母校との理解・協力を得る

- ・平成25年3月「いずみ会入会式」の開催・9月開催の母校文化祭で「2の会」の協力を得て、いずみ会のPRを図る
- ・7月・英語教育への支援、など
- 2. 母校の70周年・新校舎竣工等の諸行事に、PTAと連絡を密にし、支援する
- 3. 母校70周年記念に、母校・中庭の50周年記念植樹の桜を、記念植樹する
- 4. 母校・資料室(実質・いずみ会管理)の整備と運営について母校と相談し決める

第6. 人材バンクの活性化

1. 積極的な人材の発掘と登録、活用
2. 活性化のベースであるサークル活動へ、積極的な支援を行う

第7. 財政管理

1. 会の財政を改善するため、中長期にわたる収入の安定化と経費節減を図る
2. 会費納入率の向上対策、寄付金の増強、広告の増強を当面の課題とする

第8. 評議員会の開催

いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成24年5月26日(土)に開催する

第9. その他の事項

1. 理事会の開催
2. 監査会の開催
3. 各期評議員の登録更新

◇評議員会出席者一覧◇

春日孟・須賀智功・永川俊彦(中1期) 熊谷光志・山岡竹三郎(高3期) 加羽澤暉幸・静谷哲治・橋本宏(高4期) 青山喜彦・嶋正彦・松岡五郎・松坂清・石原須美子(高5期) 有田二郎・今村邦夫・遠畑啓・豊嶋志朗・村井和郎・篠匡昭・外村淳子(高6期) 大野和美・金子榮一・岡野朝子・本道操子(高7期) 野口純正・谷治正孝・片山隆・小熊阪満邦・二宮靖子・宇田川公子(高8期) 須藤一彦・清水信・齋藤正一・安藤幹男(高9期) 井上康子・野口悦子・前川禎男・西谷和子・藤田肇・山田喜照・鈴木京子(高10期) 富田順子(高11期) 荒井亮三・板橋昭寿・関根宥子・相川光夫(高12期) 早川淳・高田勲・山本章義・高野高志・田中昇次・豊田孝美・小松富貴子・国澤栄子・市川敬二・大高光蔵・笠原孝之・高津幸一(高13期) 布施百合子・三森友直・大申康夫・松倉基子(高14期) 仙澤龍雄・村上広・森田陸四郎(高15期) 橋元宏・大場修一(高16期) 石田智秀・根本孝子・橋原猛夫・酒井君枝・酒井陽三・住永憲治・別所信子・板谷文木・宮田健治・青木隆・安斉秀行・鈴木裕一・鈴木三枝子・豊田哲也・寺島孝(高18期) 田村明子・小山雅文・進藤幸子・佐久間優行・松井恵美子(高19期) 荒井眞理子・川口章子・小林憲一・山口達夫・速見元子・小山恵一郎・中川恵(高20期) 肥沼年光・花澤亮司(高22期) 山川新(高24期) 宇多正行・吉田寛・山口美佐・加納達信・木村了(高25期) 沼田英一(高26期) 宇野伸一・竹林悦子(高27期) 野島陽子(高28期) 鎌田政信・梅美智代(高32期) 青山成道(高46期) 渡邊太地(高52期) 寺田献(高62期) 正月孝治(高63期) (敬称略)

平成23年度 収支決算 (自平成23年4月1日～至平成24年3月31日)

平成24年度 収支予算 (自平成24年4月1日～至平成25年3月31日)

Table with 5 columns: 収入の部, 科目, 平成23年度予算, 平成23年度実績(A), 予算過不足((A)-予算), 備考. Rows include 入会金, 前受金戻入, 当期入金分, 会費, etc.

Table with 5 columns: 収入の部, 科目, 平成23年度実績, 平成24年度予算, (B)予算-日23実績, 備考. Rows include 入会金, 前受金戻入, 当期入金分, 会費, etc.

Table with 5 columns: 支出の部, 科目, 平成23年度予算, 平成23年度実績(A), 予算残(予算-(A)), 備考. Rows include 総会関連費, 役員・評議員会合費, 監査役会費, etc.

Table with 5 columns: 支出の部, 科目, 平成23年度実績, 平成24年度予算, (B)予算-日23実績, 備考. Rows include 総会関連費, 役員・評議員会合費, 監査役会費, etc.

Table with 4 columns: 収支の部, 項目, 平成23年度予算, 平成23年度実績, 備考. Rows include 当期収入, 当期支出, 当期収支残, etc.

Table with 4 columns: 収支の部, 項目, 平成23年度実績, 平成24年度予算, 備考. Rows include 当期収入, 当期支出, 当期収支残, etc.

母校支援活動準備金収支

Table with 3 columns: 収入の部, 科目, 実績. Rows include 前期繰越金, 別途積立金より, 計. Also includes 支出の部 and 収支残.

附帯事項 別途積立金から戻し入れ
母校支援活動準備金に、平成23年度支出分332,122円を戻し入れ、限度額を200万円とする。うち、100万円は「母校70周年記念式典」開催の予算とする。

入会式・卒業式

平成24年3月13日、いずみ会への入会式が行われ、277名が入会。3年間皆勤賞は18名！がんばりましたね。
翌3月14日母校旧校舎体育館で最後の卒業式が行われました。往年の卒業式とは少し様子が違って感じられる一つに卒業生たちの服装・晴れ姿があります。

貸借対照表 (平成24年3月31日現在)

Table with 4 columns: (資産), 科目, 2011.3.31現在, 2012.3.31現在, 増減. Rows include 定期預金, 普通預金, 振替口座, 現金, etc.

高校64期評議員一覧(敬称略)

- 1組 未定
2組 梶山 大雅・久住 侑矢
3組 海江田 あずさ・酒瀬川 友菜
4組 石丸 慶子・伊藤 龍之介
5組 田名網 優至・松倉 めぐみ
6組 中村 宏伎・奥村 亮太
7組 幸崎 明日加・竹田 侑治

ご支援に感謝

(校長 菊地 芳男)



いずみ会の皆様には、日頃から本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

さて、ようやく新校舎が完成し、今年度から生徒たちは新たな環境で学校生活を始めました。いずみ会の方々には、旧校舎に愛着をもたれている方が数多くいらっしゃると思いますが、現在校舎解体中

で来年度には、新グラウンドに生まれ変わります。長い歴史の中でもこの数年間は、大きな変革期が訪れています。

本校の今年度のニュースとして、吹奏楽部が富山県で実施される全国大会に出場が決定しました。また、水泳部の選手が国体に出場いたします。

また、昨年本校は、70周年を迎えましたが、新校舎の落成と併せて、今年の10月に記念行事を実施いたします。70年を過ぎた本校ですが、余生を楽しむという訳にはいきません。これから、より一層教育活動を充実させ、発展させていくことが求められていると考えています。

いずみ会の皆様とは、密に連携をとらせていただいておりますが、今年度も様々な教育活動にご支援いただき大変感謝をしております。今年度も夏に行われる中学生対象の英語集中会話講座の講師派遣や、来春高校生を対象に行われるキャリア教室の社会人講師の派遣など気持ちよくお引き受けいただき、この場を借りてお礼申し上げます。こうした機会が、生徒にとっていずみ会の存在を身近に感じ、親しみを感じる良い機会にもなっています。これからも後輩に良きアドバイスをさせていただければ幸いです。

いずみ会のますますのご発展を祈念しています。

活躍しています

■ 水泳部

高校1年生 長谷川慶一郎君が関東大会男子400m出場、続いて全国学校総合体育大会日本高等学校選手権水泳大会に出場を決めた。



校舎に掲げられた横断幕

■ 野球部

夏の大会において昨年8強の穎明学園に勝利し、3年ぶりの初戦突破を果たす。新聞各紙では、ユニフォーム姿で



助監督としてベンチ入りした羽石悠里外野手(3年)を勝利の女神、なでしこ球児と、普段の練習から男子を引っ張り、チームを盛り上げる彼女の頑張りを称えていました。

朝日新聞より

■ 高校女子バスケットボール部

関東大会都予選、全国高等学校総合体育大会都予選両大会とも6回戦まで(ベスト16)勝ち上がるが、明星学園に敗れる。

■ 附属中学バドミントン部

練馬区中学校総合体育大会バドミントンの部で男子ダブルス(3年柳瀬雄大君、2年齋藤奏冬君)ベスト16。女子シングルスで3年山名里佳さんベスト8。

■ 吹奏楽部

全国高等学校総合文化祭「とやま2012」に東京都代表として参加。

また、8月5日には、昨年は震災のためできなかったサマーコンサート、OB・OG・現役と一緒にの演奏会が開かれました。今回は第50回記念コンサートで、吹奏楽部OB4人による作品が演奏され、いつ練習したのだろうと思うくらいしっかりと演奏を楽しみました。



母校講演会 高井 潔司さん(高19期)講演より

高校1・2年生を対象に母校が計画した外部から講師を迎えての講演会に、いずみ会へも講師の依頼があり、今回は高19期の高井 潔司さんに講演をお願いすることになりました。大泉時代は野球部に所属。キャッチャーそしてキャプテンとして活躍。読売新聞社北京支局長など27年間新聞記者を勤め、その後、北海道大学教授を経て現在桜美林大学教授としてマスメディアに対応する人づくりを目指しておられます。

6月27日(水) 陽射しの強い午後、母校視聴覚ホールいっぱい高校1・2年生400名が集合。全員着席して落ち着くのにやや時間が掛かりましたが、野球部のユニフォームの生徒たちに「講師の先生は野球部のOBよ」と声をかけると「はい!しっかり聞きます!」高井さんの話がはじまると、姿勢よく静かにメモをとったり、頷いたり、講話に静かに耳を傾ける姿はさすが、大泉生!

『人生目覚めている時間の半分は労働していることになるから、天職に巡り合い、全うすることは幸福である。自分は高校時代から二つの天職、「新聞記者と教授」を宣言し、実際にそうなったのだが、マニュアル、給料体系、世間体で選ぶのではなく、自分の能力、性格に合った仕事を持つことができれば幸せである。

それに巡り合うためには、若い時にたくさん悩んだり、いろいろな経験をしたり、本物にできるだけ接すること。「己のために学ぶ」という論語の言葉にあるように、世間の評判、周りの期待、立身出世を目指すような姿勢ではなく、自分自身の価値観をしっかり持てるように、謙虚な姿勢で学ぶこと。そして人間関係をよく保つこと。高校時代野球部のキャプテンをした経験=気配り、目配り、心配り=と、交友関係が社会に出ても大切であり、今、そのような大泉の遺産にも支えられ生きている。』

短い時間ではあったけれど、たくさん伝えたかった先輩の思いが高校生の中に少しでも染み込んでいて!と願わずにはいられない傍聴生でした。

進路状況 (浪人生を含む)

「国公立大学」

北海道2、弘前(医)1、秋田1、筑波2、埼玉4、千葉1、お茶の水女子1、東京1、東京医科歯科1、東京海洋2、東京外国語2、東京工業3、東京学芸2、東京農工8、電気通信4、横浜国立1、信州1、大阪1、宮崎(医を含む)2、首都大学東京5、気象大学校1、国立看護大学校1

「私立大学」

青山学院15、学習院16、北里6、慶応義塾6、駒澤12、芝浦工業20、上智21、成蹊28、成城4、専修8、中央27、津田塾3、東京女子6、東京電機6、東京農業7、東京薬科1、東京理科30、東洋25、独協4、日本30、日本女子3、文教3、法政50、武蔵17、東京都市10、明治74、明治学院8、明治薬科7、立教54、早稲田44

「転入・採用」

附属中学副校長	南 和男	()内は前任校等
地 理	榎本 康司	(教育庁指導部)
数 学	赤羽 隆一	(科学技術)
生 物	五十嵐裕美	(杉並工業)
物 理	浅尾 聡明	(新規採用)
家 庭 科	六波羅美恵	(目黒)
国 語	西光寺 実	(文京)
社 会	根岸 大悟	(北園)
数 学	日比野智子	(白鳳)
数 学	勝木 衛	(石神井)
理 科	猿田 恵子	(西東京市明保中)
英 語	柳田 健	(新規採用)
	加納 敦子	(板橋第一小)
国 語	西岡 泰敬	(隅田川)
数 学	内村 昭司	(光丘)
英 語	廣保 賢司	(小平西)
英 語	堀谷 信康	(府中)
美 術	石井 恵理子	(豊島)
経営企画室	福田 和廣	
	阿部 真利子	
	笠原 聡	
	渡邊 薫子	
	野崎 明美	
	山脇 義晴	

教職員人事異動 (敬称略)

「転出・退職」

国 語	伊東 真	()内は転出先等
地 理	浦邊 浩之	(第五商業)
数 学	富田 康次郎	(蒲田)
生 物	高橋 正人	(西)
英 語	高橋 正人	(農産(定))
英 語	吉澤 博志	(退職)
英 語	渡邊 毅	(退職)
美 術	香川 一隆	(退職)
家 庭	鈴木 真紀子	(退職)
経営企画室	海谷 利明	(王子総合)
	高橋 敦	
	田中 芳規	
	江崎 千登世	
	下田 良子	(退職)
	江村 陽子	

平成24年度の主な学校行事

4月7日	入学式
5月9日	体育祭
9月15日~16日	文化祭
10月27日	母校70周年・新校舎落成記念
3月13日	いずみ会入会式
3月14日	卒業式

●●● ますます充実する母校支援 ●●●

平成23年度母校キャリア教育社会人講話

昨年はキャリア教育実施直前の東北大震災のため、社会人講話の講座は見送ることになりました。被災の地の復興までにはまだまだ時間がかかりますが、少し落ち着きを取り戻した今年は、社会人講話も復活。昨年ご準備いただきました講師の方々に昨年果たせなかった後輩諸君へのメッセージと、職種を広げて多くの方に知っていただきたい話を発信していただきました。「〇〇先生 お願いします。」「はあーい」元気の緊張した声とともに、用意したプリントやパソコンを持った講師が次々と控室から足取りも軽くでかけて行く。

廊下を歩きながら生徒と軽く言葉を交わしながら……。 「どんな話が聴かれる」のか、懐疑と期待の入り混じった目は、やがてらんらんと輝き、教室を覗くと熱気がむんむんと伝わり立ち去り難い。

どの講師も自分の貴重な経験を通して語りかける。生徒達に『自分の好きな事』・『興味ある事』・『やりたい事』早く見つけてほしい。

自分の人生は自分でしっかりと見つめ、考え、切り開いてほしい。

みな共通した願いであろう。

親からも教師からもなかなか聞かれない貴重な話を聞ける生徒達は「つくづく幸せだなあ」と思う。できればもっとほかの講師の話も聞きたかったであろうが、これが心の琴線にふれる『出会い』かも知れない。みんながんばれ！



キャリア教育講師の皆様

■『駅改札機から覗いた世界の国々』 岩片 卓雄さん(高12期)



日本人の海外プロジェクト・マネージャーはまだ数が少ないが、若い世代が目にするに値する面白い仕事である。駅の改札機、発券機からでもその国の文化の違いで様子

が変わってくる。その国の自然、文化、技術は密接な関係をもつので、大いに外に出て、その国を学び広く視野を持つと良い。

■『高校時代の夢は航空エンジニア』 小林 憲一さん(高20期)



高校生のこの時期、自分の能力や才能を一時棚上げて最大限の夢を描くことをお勧めします。日本一の外科医、スーパー保母さん、芥川賞作家、なんでもいい。枠を作ってしまうと夢はそれ以上に大きくはなりません。そして現実に向き合う過程で削ったり、変化させて行けばいい。

■『企業の人事担当者が考える学生生活の過ごし方』 林 大介さん(高46期)



将来の夢が日々の選択に影響を与え、数%の夢を持ち続けている人が成功への道を歩むと思います。そのためには、まず、「自発性」自分で考え、自分から行動する人に。次は「継続性」粘り強い人になれ。何か地道に続けている人は自信を持って。最後に「現実性」自分を客観的に見る事ができるか。でも小さくまとまる必要はないから、今の時期は好きなことを思う存分やるだけで十分です。

■『音楽療法士とは』 牛田 聖子さん(高27期)



「音楽療法」とは？音楽の持つ生理的、心理的、社会的働きを用いて心身の障害の軽減回復、機能の維持改善、生活の質の向上、問題となる行動の変容等に向けて、音楽を意図的、計画的に使用することと定義されています。数人の生徒さんに実際の楽器を使った音楽療法を体験してもらいました。



■ 『私の海外経験』
柳澤 俊夫さん(高20期)



①英語は未知の世界への窓。聞き取る能力と、自分の考えを伝える能力が大事。
②広い世界を知ること。広く知識を得て、「文化」を理解すること。

③準備をしておくこと、チャンスをもつことができる。
グリークラブの演奏旅行、企業からの大学留学等を経て、英語力と、文化の理解は大いに役立った。

■ 『土木って面白い』
金子 研一さん(高20期)



土木の仕事というのは、うすうす知っていたけれど、困っている人のためにする仕事ということに気がつかなかった。天平時代にお坊さんの行基が橋や池を造ったのはまさに土木である。昨年の震災のあと、鉄道、道路、港湾、水道の復旧で活躍したのは土木の技術者なのだ。土木はモノづくりでもスケールが大きい。橋、ダム、トンネルなど、でっかいぞ。

■ 『「心理学」から「社会福祉」へ』
昇 多加代さん(高32期)



心理学を希望して受験に失敗した(=マイナスの経験)が、後々、心理学ではなく、社会福祉学を学ぶことに繋がり、現在のソーシャルワーカーという天職のような仕事に巡り合った。その他の一つ一つの経験がその後に生かされ、繋がって、今に至っている。様々な出会いがあって、思いもよらない新たな進路が展開してきた。

■ 『働くということ』
松永 譲治さん(高20期)



キャリア形成上大切なことは、主として能力・態度の開発(学習)、出会い・人脈作り、経験と体験です。そして自分で決めた方向に向かって歩みだすこと。ただし、将来

進路は変更しても構わない。人生は自分のものだから。最後にスマイルズの「思いから人生を刈り取る」という言葉をプレゼント。

■ 『夢は作るもの』
南雲 治嘉さん(高15期)



高校生活は人生にとってとても大切な時期。意識を常に高く持ち、精一杯に今をやる！そして自分の夢を作ろう。夢は探しに行くものではなく、作るものです。

■ 『就職・企業の選択について』
桑野 真暉子さん(高16期)



社員4千人の大企業で吹けば飛ぶような歯車の一つとして翻弄されたのち、社員百人余りの企業に就職。そこは壮大なプロジェクトに挑戦していて、それに向けて、やる

しかないんだと皆が同じ気持ち、同じ方向を向いて頑張る、大企業には絶対ない一体感、充実感を味わいました。正反対の体験から、知名度にかかわらず、企業選びの目線は広く持って！



声 ★ 自分の将来を決めるきっかけとなった。
★ やりたい仕事につく。★ 働く事で人間はそこに存在する価値がある。★ やりたいことを見つけて進路を決めないと後悔する。★ 自分の夢を作る。高い意識を持つ事で実現する。★ 自分の夢に対する明確なイメージが大事。★ 夢のためにはキャリアが必要★ 人生のためには将来や価値観について、深く考え確かなイメージを持つ。★ 自分の特性を冷静に把握して、企業の内容を知り「そこでなにをしたいか」実際「なにができるか」を選択したい。★ 出会い・経験を大切に生きる。★ 壁に突き当たっても、努力して道を切り開いていく。★ がんばればやがて楽しくなり、自信につながる。★ 英語を話したい。留学したい。★ いつチャンスが転がりこんでもいように、備えて行きたい。★ 視野を広げる。★ アメリカの学生はよく勉強する。★ アメリカは競争社会★ 社会人になっても今日の話を生かし続けたい。★ 誇れる仕事につきたい。★ 納得するまでやるのではなく、精一杯今をやるのが大事。★ 夢は実現するためにある。★ 医療という固いイメージがあるが、そこに音楽が入ると患者の心に音楽が届く事で楽しんで治療ができる。外国人でも意思が通い合う。★ 将来『音楽療法士』の国家資格ができるといいのに。

●●● ますます充実する母校支援 ●●●

英語特別講座

平成24年7月27日から29日まで、連日34度を超える猛暑の中、中学2年生を対象に『英語特別講座』が開かれた。ひとクラスを3グループに分け9グループ延べ25人の講師(27日は7人)によりそれぞれ特色ある授業風景が展開された。

9月にBritish Hills(16ページ参照)で英語合宿をする前

哨戦? とにかく英語に慣れるいい機会だったに違いない。

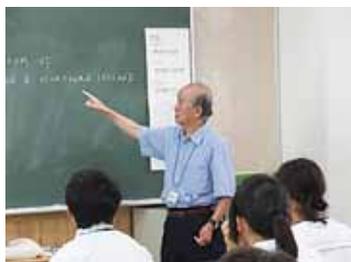
特に3日目広瀬先生宅に泊られたマシュウさんも一緒に授業に参加してもらった。この日の3クラスの生徒はとてもラッキー。

部活で登校中の生徒たちも気楽に声をかけ会話を楽しんでいる。うれしい光景でした。

声

★ 一日5分の勉強・5個の単語を覚えると1年で30時間・1,800個の単語が覚えられる。すごい! ★ 声を出すこと。会話のとき無言ではダメなので、間を作る言葉の利用の仕方。★ 「簡単な単語でも会話はできる」★ 英会話というだけで苦手意識があったが、気持ちに変化が現れた。★ 上手く喋るより自分の思っていることを正しく伝える。相手のことも理解する。★ 会話は難しいが、British Hillsではリズムよく会話を楽しみたい。★ コミュニケーション・アイコンタクト・テンポが大事。★ イギリスの歴史の成り立ちを聞き、英語の関心が高まり好きになった。★ 英語を使って新しい世界を知りたい。★ 外国の話聞き日本の平和を実感した。★ 3日間を無駄にしないように。★ もっといろんな先生からいろんな話を聞きたい。★ 今回の経験を今後生かしていきたい。★ British Hillsでの対話が楽しみ。

講師一覧



小熊坂 満邦さん(高8期)



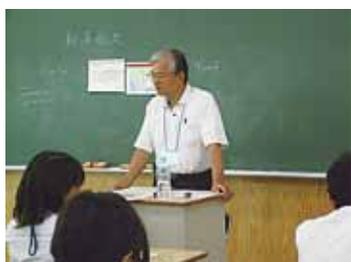
笹原 みどりさん(高21期)



佐倉 純子さん(高20期)



廣瀬 芳子さん(高11期)
マシュウさん(ゲスト)



柳澤 俊夫さん(高20期)



曾我 さとみさん(高21期)



宇田川 公子さん(高8期)



岩片 卓雄さん(高12期)



守本 純さん(高21期)



大串 康夫さん(高14期)



林 大介さん(高46期)



●●ごぞんじですか？●●

最近の現役生は校歌を歌う機会がほとんどないように聞いています。入学式に合唱部によるお披露目。卒業式予行に練習をして本番で全員合唱するくらいでしょうか。過去には入学してはじめての音楽の時間に校歌、校友の歌の練習と意味の解説とか授業で受けたような記憶があります。また全員で歌う機会がたくさんあったようにも思います。70年の歴史の中ではいろいろな移り変わりがあるのでしょうか。それでも「大泉」の校歌、校友の歌は、同窓生の心にいつまでも歌われている大事な「大泉」の財産の一つだと思います。

会報20号(昭和52年4月1日発行)に、両角先生が話された校歌、校友の歌、校章誕生のお話を、国語科の橋本精一先生が要約された文章が掲載されています。大泉では「校友の歌」「校章」「校歌」の順に制定されています。母校70周年の歴史の一端をここに再掲して広くみなさまに知っていただこうと思います。

校友の歌・校章・校歌

「私は中学時代5年間を長野県立諏訪中学校の自治寮で過ごした。寮ではよく旧制高校の歌を歌った。大泉へ来て、戦後の青年の意気を揚げるには歌がよいと思った。旧制高校の歌は生徒の中から生まれた。大泉の歌も、えらい人に作ってもらおうとは思わなかったの、先生生徒に歌詞を求めた。たくさん集まった歌の中で、伊藤静先生の作が一番よいということになった。この中には私の教育目標も入れてもらった。作曲は音楽の高田三郎先生にお願いした。これが校友の歌である。このような歌が続いてできること期待したのですが、まず校友の歌第一号と言うつもりであった。今でも歌いつがれているようで結構なことだ。

大泉中学校の校章は、なかに中の字をいれた桜の打ち抜きの上品なものであった。それを「ぬけ中」という者がいた。けしからんと思った。新制高校になって新しい図案を広く募集したが、岡野先生のが一番よかった。これを、「さかさ桜」という者があったが、あれは若人が大空に向かって高く手を挙げている姿、飛行機の上昇する姿である。」

先生のお話はまだ長く続く。

昭和41年7月、本校創立25周年記念に、大泉の昔を語っていただいた。聞き手は小島先生、録音は私である。4年後に先生は亡くなったので、この時のテープは貴重なものとなった。

創立10周年記念に校歌制定が計画された。両角先生と河合先生が日夏歌之介先生にお願いしたが、校歌は詩想を規制するという理由で断られた。私も一度河合先生とお願いに阿佐ヶ谷のお宅へ伺った。話を少し省くが、結局3年越しの29年に我々の願いはかなった。先生は新聞部の諸君に次のように話された。

「私は校歌を作るのは嫌いである。校歌は詩としてあまり高くない。しかし今度は熱心な先生の頼みで引き受けてしまった。校歌は郷里長野の農業高校のものと大泉のものだけで、これが私の最後の校歌である。永年住んでいる東京にひとつとって作った。武蔵野の中にあるので、武蔵

野の人の心の動きや、その環境を、教養ある人にねらいをおいて歌ってみた。このはげしい時代に、ここで静かに教養を身につけることのできる諸君は幸せである。学究的態度で学び、そういう態度で歌ってもらいたい。」

新古今集良経の歌で始まり、独歩の「武蔵野」から現世へと流れていく歌詞を読みかえすと、かつての高踏派詩人、お目にかかった時の文人としての風格が目につく。

両角先生・伊藤先生・河合先生・日夏先生・校歌作曲者の小松清先生も故人となられてしまった。(1977年4月1日 故橋本精一先生)

注：日夏歌之介(ひなつこうのすけ) 詩人、評論家。長野県生まれ。早大英文科卒。在学中に西条八十らと雑誌「仮面」を出す。後に早大教授。おもな著述：「明治大正詩史」詩集「転身の頌」「黒衣聖母」

関連大泉小史

- 昭和16年 府立二十中として設置認可
この年初めての遠足は豊島園、石神井公園
- 昭和17年 府立大泉中と改称。鷲宮より現在地へ
- 昭和22年 「校友の歌」決定
- 昭和23年 都立大泉高校と改称・定時制課程併置
- 昭和24年 全日制定時制共に男女共学実施
- 昭和27年 同窓会「いずみ会」と改称
- 昭和29年 校歌制定発表会

「校友の歌」の奇妙な一節

山田 進(高19期)

大泉の校歌と同様に親しまれているのが「校友の歌」ですが、それもそのはずで、こちらのほうが校歌より先にできたといえます。校歌の歌詞は語句の意味がひと続きでわかりやすい「千とせのむかし行末は空もひとつの武蔵野に月を仰ぎていそしめるみおやの民のすがた哉」。しかし、校友の歌は語句の続き具合が形から明らかでなく、語句をそのまま投げ出したようになっていきます。これを私なりに意味のまとまりで切ると、1番は「はろばろと明き武蔵野／咲きかほる山桜／競い咲け自主創造の大理想／ああ大泉」のように切れ、2番は「そびえ立つ清き富士が嶺／身と心強く正しくならび行け／師友手をとりに学ぶ／ああ大泉」、3番は「新しきわれらが祖国／東西の文化の園生うち立てん／使命をしめて日にはげむ／ああ大泉」のようになります。歌う時には意味の続き具合よりも、個々の語句が喚起するイメージに酔って声を張り上げるから歌詞の意味はあまり気にはなりません。とはいえ、3番の「使命をしめて」というのは何なんだろうと前から気になっていました。「使命を」に続く「しめて」はどう見ても動詞で、基本形は「しめる」以外にあり得ませんが、「使命をしめる」とは妙だなぐらいに思っていたのです。それが、大泉の同窓会だったか同期会だったかの時にある人との話の中で話題になりました。その話の中でたぶんこうではないかということになったのは、「しめる」が「ひめる」の「訛り」だろうということでした。一昔前の東京には「日比谷」を「しびや」というように「ひ」を「し」という

人が結構いました(今でも落語で聞くことがあります)。要するに、「使命を極めて」は「使命を秘めて」のつもりではなかったのかということ。作詞者(伊藤静という人)のことがそのまま書かれたのか、歌っているうちに「極めて」になったのか(こちらの可能性は少ないでしょうが)、今では確かめようがありません。

珍しかったコーラはさすがにうまかったですね。優勝後練習試合の申し込み相次ぎましたが、もちろん丁寧に断り申し上げました。

かくして汗も涙もない我等が暑い夏は終わりを告げたのであります。

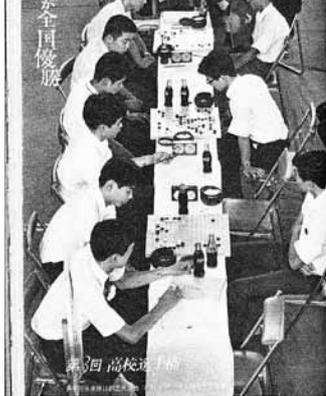
1967年全国高校囲碁選手権 大会優勝の思い出 山本久夫(高20期)



まずこの大会がどういうものかといえば、昭和薬科大学という少々変わったところが主催者で発足時はあまり話題にはならなかったように思います。しかし優勝者が一般棋戦で活躍しレベルの高さを証明した結果、3回目を迎えたこの年は全国選手権として十分認知されるようになっておりました。一つ出て見ようかという気になるのはおかしくなかったのですが、だれが出ようと言いだしたかはどうも思い出せません。飯塚や私は性格的に積極的に出ようという筈がなく、多分二人で碁を打っているのを見た三上先生あたりが言いだしたと思います。

当時は一部(確か沖縄と北海道)を除いて予選はなく、申し込みれば即本選出場なのですが、選手は三人必要というのが最初の関門でした。碁を知っているというのは何人かいましたが、全国大会などんでもないという中で浜口が快く引き受けてくれて出場にこぎつけました。

初日は個人戦で、先の通りトップクラスは相当強いのですが、そこに当たる前に撃沈し、ベスト16止まりだったのは残念でした。翌日が団体戦で、前日の雪辱に燃えようやくファイトの出てきた上に、個人戦の強豪の殆どはチームを組めず不参加とあって、快進撃を続け、決勝の相手はオール4段(今の7段位?)で揃え優勝候補の筆頭と目されていた(後から聞いた話ですが)戸山高校でした。



勢いに乗る私はあっさりと勝負を決め、浜口はさすがに荷が重く、勝負の行方は飯塚の主将決戦に持ち込まれました。中盤あまり形勢よろしく見えなかったのですが、家が碁会所で実戦の雄の飯塚はここからが強い。順当に?逆転して見事優勝しました。決勝戦で出た当時まだ

倶楽部の思い出

(2012母校文化祭「2の会」展示より抜粋)

=母校70周年=を迎えて、高校3学年、中学3学年が揃い、12歳~18歳までが部活に励んでいます。文化祭では、今はもうなくなってしまった部の思い出を語っていただきました。同年代の頃を思い出し、いつの日か復活!なれば嬉しいですね。

【体操部】横川(村田)玲子(高22期)

友人に誘われて入部した、体操部。身体は硬く、スポーツなんて縁のない世界でしたが、練習していくうちに地転ができるよう。「やれば出来る!」顧問の先生方のおかげです。

【鉄道研究会】鏑田 政信(高32期)

文化祭を目指して、鉄道そのものではなく、鉄道と社会の関わりについて真摯に研究し、発表していました。通常のHOゲージレイアウトや写真展示の他、写真撮影会や東京近郊への乗車会など和気藹々と活動していました。

【柔道部】渡邊 大地(高52期)

旧校舎の柔道場に「自他共栄」という額があったのをご存知だろうか。柔道部の伝統には欠くことのできない言葉である。部長を務めたとき、部員と意見が合わなかった。顧問の先生が「それぞれの部員にはそれぞれの柔道がある。自分が思うことを相手に押し付けることが部長としての役目ではない」と。これこそ「自他共栄」の精神。個を尊重し、和を重んじ、総をなす、を学んだように思う。

【ボート部】石井 和雄(高22期)

ボート部の練習場は埼玉県戸田市、戸田漕艇競技場。当時は池袋からバスで通うか、殆どは自転車でもトレーニングを兼ねて行っていました。1年上の21期のメンバーがボート部史上初めてインターハイ都予選に優勝し、それを目標に頑張り、自分たちも都予選で優勝し、本大会の広島へ遠征したことを思い出します。

【男子バレーボール部】菊池 順一(高20期)

当時を思い返して最も印象的なのは、校門を入ってから校舎までの長いアプローチだ。両側が桜並木のあの道だ。校門を過ぎてテニスコートに続くバレーボールコート。楽しかったし、また辛かった場所、バレーボール部の活動場所だ。活動は大変活発で、日々の練習と合宿には先輩方がとても熱心に指導に来てくださった。当時の仲間11人が44年ぶりに再会した。感慨深いものだった。

友遊

まんぼ会・荒川放水路を下る 源 恭子(高20期)

5月31日、11時半赤羽駅集合。駅近くでお弁当を仕入れ、昔ながらの対面式の魚屋さん、お惣菜屋さん、衣料品店等が並ぶ長いアーケードを通り、荒川と隅田川の分岐点・岩淵水門まで、歩いて行きました。岩淵水門の近くで川を見下ろしながらの昼食。近くに立っていた錆だらけの建造物は昔の施設跡?帰宅後、調べたら、平成8年「第2回荒川リバーアートコンテスト」での受賞作品とか…。

お昼の後は荒川治水資料館で荒川について学習。明治43年の豪雨で荒川、隅田川、江戸川等の堤防が決壊、大きな被害があったので、明治44年から19年の歳月をかけて東京湾から岩淵水門まで幅500m全長22kmの荒川放水路が完成。人馬を使った時代の大規模治水工事に偉大さを感じました。また、ロンドンのテムズ河は陸地より低いところを流れているのに対して荒川は旧中川沿いの陸地より高いところを流れているなど、断面図で分かりやすく解説してありました。

1時半に乗船、荒川を下ります。甲板で景色を楽しもうと思っていたら全員船室へとのこと。アナウンスを聞きながら左右の景色を見たり、パンフレットで現在の位置を確認したり、近くの人とおしゃべりしたり…。「あっ、スカイツリー!」の声に窓から外を見ると…。でも、東京タワーが見える方が余計ワクワクするのは、青春と重なるからでしょうか?

1時間半の船旅の終点は荒川ロックゲート。水位の違う二つの川を行き来するためのゲートで、荒川と旧中川、ひいては隅田川と結ぶものとか。荒川側の水門があいて、船が中に入ると水門が閉じて水が抜かれ徐々に水面が下がっていきます。側壁にぶら下がっていた鎖が半分水に浸かっていたのに、今はもう上の方に…。旧中川側の水門を出るときに上から水がザアッと落ちてきて、船室にと言われた意味がようやくわかりました。流れの低い旧中川への移動を経験すると、再びロックゲートをくぐり、今度は水をいれ、高さを荒川放水路と同じにして戻ります。

ロックゲートの操縦室も見学させていただき、中川番所へ。遠くから見てもわかるようにと海側に立てかけられた長い檣が目印の番所とその前に横付けされている俵を積んだ舟。後ろの書割には遠く筑波山も描かれています。

大人の社会科見学の日。小名木川、中川、隅田川等時代小説に出てくる川が身近になった一日にもなりました。



まんぼ会の足跡

- 2011年9月…向島界限・スカイツリー
- 11月…東京湾クルーズ
- 2012年1月…深川七福神巡り
- 2月…豪雪の津南・スノーシューハイク
(サークル合同)
- 2012年3月…六本木界限の桜、NHK博物館
- 5月…荒川放水路を下る
- 7月…武石・美ヶ原ハイキング

茶道教室～茶の湯～

月に2回、大泉学園駅近くの櫛ルームでお稽古をしています。はじめは恐る恐る道具を手にして、お点前の順序から袱紗さばきを、見るとやるとは大違い!の苦勞を繰り返し、それでも積み重ねは偉大な結果をもたらします。間違えても大丈夫。皆が通った道だもの(どこかで聞いたことある(^_^))。回を重ねるごとに身につけて、拍手していただけるように必ずなります。美味しいお菓子も、お茶も魅力ですがお茶を点てる時の一瞬の静けさを味わいには是非いらしてください。もちろんお茶とお菓子と雰囲気を楽しむだけでも大歓迎です。サークル合同で旅に出るときもお茶碗と茶筌その他持参して、現地でお茶も楽しめます。参加の方々にも好評です。豪雪の津南では、「かまくら」の中で楽しみました。



古典文学講座

6年目の今年は初回に取り上げた「源氏物語」を「須磨」中心に読んでいます。音読をし、大軒先生の解説を伺うと、少しその世界が見えてくるような気がする…不思議です。時代背景など、100年ほど昔の(現代で言うとも明治の頃の)生活の様子や流行りものが書かれていることや、紫式部がその時代の気象に関する知識があったらろうことなど、作者に対しても興味津津。毎年1月から11月(8月は休講)までの10回講座です。次は何を取り上げましょうか?

囲碁、英語講座、健康麻雀教室といずみ会室を使って活動しています。2月の「豪雪の津南」にも参加、雪景色の中、それぞれのゲームを楽しむ時間も持ちました。その他、皆さん集まってやってみたいサークル活動の案がございましたら、総務・企画部窓口までお申し出ください。また上記の会に参加したい方も窓口へ遠慮なくお申し出ください。まんぼ会は原則として奇数月に催され、その回だけのご参加も自由です。他のサークルともホームページにご案内が出ますのでそちらもご参考になさってください。

問い合わせ窓口

e-mail : izumikai@v7.com Fax : 03-3925-1486
総務・企画部長 荒井真理子(高20期)



新校舎紙上見学ツアー



校舎全体(手前は駐輪場)



【視聴覚室】400人収容の階段教室。大学の講義室を思い出させます。



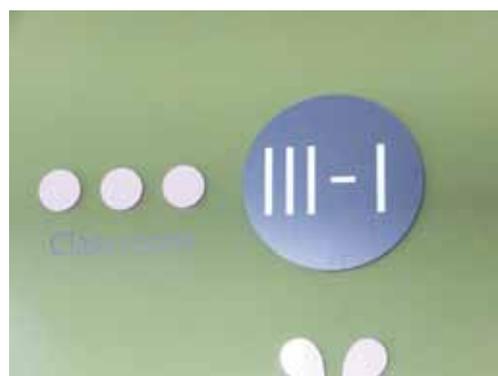
【正面玄関】



【食堂】中学生は全員揃ってここで給食をいただきます。もちろん中学の先生方も。懐かしい香りが…。



【下駄箱とセキュリティボックス】
左にあるボックスにカードをタッチすると、保護者に登下校メールが届きます。



【教室表示】
どっちがどっち？中学校はローマ数字、高校は算用数字でクラスが表記されています。



【受付】総ての医療機器の揃った病院？いえ、学校の正面玄関入った所です。



【中庭と野外ステージ】文化祭では大活躍するでしょう！奥は将来のグラウンド(校舎取り壊しの跡)



【プール】



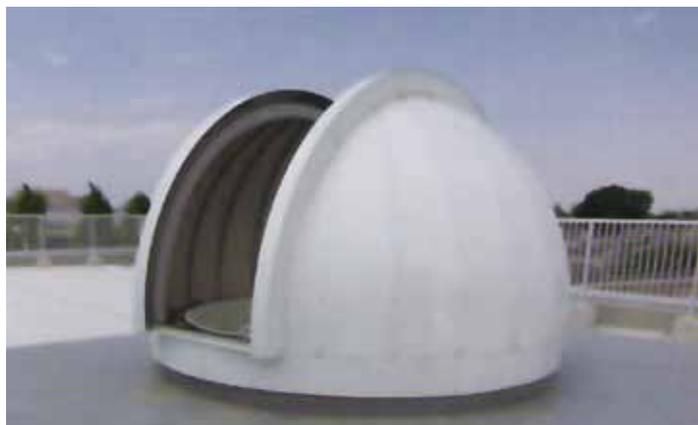
【図書館】奥にも閲覧室が広がっています。書架の数もすごい。いずみ会文庫もしっかり存在しています。



【体育館】



【生徒ホール】おしゃべりしたり、自習をしたり、くつろぎの空間。懐かしいトロフィーや掛け時計、オルガンも。



天文ドームと望遠鏡



【トイレ】…これが学校とは信じられない！美しい！

会員の集い



野球部OB会の動向

OB会事務局長 山口 達夫 (高20期)

すべてが真新しい母校校舎、そしてこれまではなかった階段型の「視聴覚ホール」。ここを会場として今年6月9日(土)、正式な会が発足して3年目を迎える野球部OB会の総会が開催されました。

席上、角原雄一会長(高10期)からは、「グラウンドのない中で頑張っている現役の皆さんを、今後ともしっかりと応援・支援していきましょう」との挨拶がありました。

また昨年度OB会より現役へ、ボール、および捕手用具一式(金額にして10万円超)を贈呈したことが報告されました。また、今年度も既に大泉高校名入りボール10ダース、そして宇山秀明(20期)氏が所属し活躍した住友金属チームからも、練習球として10ダースが贈られたことが報告されました。

さらに、OB会の新体制として、新たに会長に廣川和男(高10期)氏、副会長に久保田繁(高15期)氏・坂本豊樹(高18期)氏がそれぞれ選出され、会員相互の親睦と現役への物心両面にわたる支援をおこなっていくことを全員で確認し、新たなスタートを切りました。

閉会後は懇親の場を大泉学園駅前の居酒屋へ移して、有意義な夕べを過ごしました。



OB会の動向 ラグビー部

高64期卒業生

大泉には毎日ラグビーをしに行っているようなものだった。それほど部活の存在は大きかった。部員の殆どは高校からの初心者。人数も少なく練習は大変だったが、おかげで精神的にも強くなれた。三年間この部で多くのことを経験してきた、本当に大泉高校ラグビー部に入って良かったと思っている。…卒業生部員を送る会にて。

高6期

六期会・米寿と喜寿を祝う会

平成24年7月4日(水)

今村 邦夫

『高校六期会(昭和29年卒)』は3年C組担任の井上森夫先生の米寿と六期生の喜寿を祝う会を、横浜・鶴見「翠華樓」で行なった。井上先生ご夫妻と女性21人男性15人計38人の集いでした。長野・三重から58年振りの参加もあり、

八十八の先生は感動のひとつきを味わって居られました。米寿へのメッセージと近況報告は出・欠席合わせて65通も寄せられました。感激の井上先生から自作のブロンズ像一体と「うみ」の色紙が配られました。一昨年の岡崎先生を囲む京都六期会、昨年の名古屋・伊勢六期会と好評の地方開催に、第二回の喜寿(昭和拾年生れ)は年末12月前半に埼玉・飯能での開催を目標に準備を進めています。現在、飯能市内には、六期生が8人も在住しているので、飯能六期会は盛大な集いとして期待されます。



高8期

高校八期会

平成23年11月21日(月)

松村 正道

土屋先生、畑野先生、中山先生と、今ではわずか3名しかご存命でないのは、さびしいですが、恩師の先生方のお元気なお話をお聞きしていると、まったく56年前の自分に戻ったような気分になるのは、同期会に参加する楽しみの一つです。先生方のお話する姿は、まったく昔、教壇で見られたしぐさそのまま、先生方の昔のくせ発見するついでに笑いがこぼれてしまいます。

さて母校も創立70周年を記念して、校舎建替え、グラウンド整備今ではまるで大学キャンパス張りの新校舎になりました。またすでに栄えある中高一貫校として、都立群では難関校の一つになっています。我々先輩達が営々と築いた大泉の校風を、先輩である我々は同期会に参加して、新しい「大泉の風」を肌で感じて、それを次の孫達の世代に伝えていってくださいますようお願いいたします。



高
13
期

13期生、古稀記念の第10回同期会開催

田中 昇次

6月1日午後、高校13期の仲間が池袋に集結しました。昨年5月の「卒業50年記念」と銘打った宿泊同期会に引き続き初めての2年連続での開催でしたが、58名という盛会でした(内訳：男性40名、女性18名)。

会場は14期に紹介された、ホテル第一イン内のレストラン・ピノでした。開会前から多数が受付を終え、旧交を暖めあうグループの輪がいくつもできました。一部遅参者を除く全員で集合写真を撮ってから、くじ引きで決めた席に着きました。女性幹事の発案で、男ばかり女ばかりの並びにならない配置は好評だったと自賛しています。

開会挨拶は戸田代表幹事、乾杯の音頭はいずみ会会長を退任されたばかりの早川氏と続きますが、今回は古稀記念にふさわしく、日本舞踊名取の小松(旧姓：須磨)さんによる「寿」の披露がありました。また、2013年は「三の会」による同窓会懇親会運営を控えており、13期は笠原氏を中心にこれを盛り上げようと、氏の挨拶で方針を確認しました。

歓談の合間には、遠路沖縄から駆け付けた松園氏をはじめとして、熊林(旧姓：浅見)さん、萩野さん、中井(旧姓：田中)さん、中本氏、高津氏(いずみ会新会長)などが近況や思い出話を語ってくれました。

卒時クラスごとの記念写真撮影、岡本氏はか合唱部指導による校歌、校友の歌斉唱後、風祭さんによる中締めを行い、そのまま二次会へとなだれ込んでいきました。

終盤、中村先生への花束贈呈、校歌、校友の歌の斉唱でお開きとなりました。40名を超えて二次会銀座ライオンへ流れ、その後三次会へと続きました。当初4年に1度という同期会が、最近2年に1度となり、今回毎年開こうという事になりました。

中村先生の「同期同窓が時に寄り添って語り合うことは、己の生き方を省みる上でも意義のあることですね」というお言葉が、まさに同期会の真髄であると強く感じました。高校時代の絆を再確認した楽しい一日でありました。次回は1組が当番となっております。

(東京三田倶楽部(帝国ホテル内)にて)

高
22
期11年ぶりの同期会
平成24年6月17日(日)

肥沼 年光

高校22期卒業生は11年ぶりとなる2回目の同期会を開催しました。出席者は87名と大勢の同期の仲間と2時間余りの間、楽しいひとときを過ごしました。

恩師の方では3年2組の担任でいらっしゃいました林先生には遠く佐渡島からお越しいただきました。先生は大変お元気で私たちとお酒を交わしながら昔話に花を咲かせていらっしゃいました。

高
17
期

青春に帰った日

平成24年6月2日(土)

成田 俊彦

恩師中村格先生のご出席を賜り、70名が参加いたしました。

冒頭、亡き恩師(高橋茂・森谷安吉・安藤保)先生・亡き友人(中江和夫・深町純)さんを悼み黙祷を捧げました。ついで7組から1組までクラス単位での写真撮影、各自の近況報告を行い、大いに盛り上がりました。一人一人の近況報告にもそれぞれのドラマを感じました。

11年ぶり2回目とはいえ、初めて参加した人も多く、卒業以来43年ぶりの再会となるので、胸にさげた名札と顔を見比べて昔の姿を思い出し、近況や懐かしい話をして楽しく語り合いました。

最後に校歌・校友の歌を全員で合唱して、次回何年後になるか分かりませんが、再会を期して同期会を終了しました。

(ホテルローズガーデン新宿にて)

高34期

34期(1982年卒)の同期会開催

平成24年7月15日(日)

34期幹事(横田、田島、高松、園田)

1982年に卒業した416名のうち、93名が30年ぶりに集合。

まず開会直後、久しぶりの集団行動となる出席者全員の記念撮影を会場内で行いました。(みんな素面なので無事成功です)。その後はクラス別や部活別(帰宅部を含め)の記念撮影を行いながら、約2時間半にわたり、歓談。ラストはもと応援団女子が壇上に上がり、「懐かしい友の歌」で大いに盛り上がりました。

30年ぶりに顔を合わせた人も多かったようですが、そこは34期。クラスや部活の絆を越え、交流のあった人もなかった人も入り乱れて楽しんでいました。すっかり在学中を思い出し、懐かしい居心地の良さを久しぶりに満喫しました。また、ご臨席いただいた井上先生(物理)と山田先生(国語)、益田先生(英語)にもお一人ずつお言葉をいただいて、その近況に笑ったり、しみじみと感じ入りもしました。

二次会も当日の発表にもかかわらず、60名ほどが参加し盛況でした。「楽しかった」「懐かしい」「また会いたい」という声が沢山聞こえてきた、幹事冥利につきる一日でした。皆さんありがとうございました。

最後に出席してくれた方も、出席できなかった方も、facebookに登録している「大泉 高34期(1982年卒)」グループに是非参加して下さい。招待します!

(中野サンプラザにて)



高38期

卒業以来初の同期会開催

平成23年11月14日(土)

川瀬 恵子

「あの頃の友達と、あの頃の教室に入り、涙があふれた。」
一昨年、卒業以来初となった高38期の同期会が、懐かしの母校で開催されました。一次会101名と山田先生&沼田先

生、二次会は駅前の笑笑にて70名参加と大盛況! 多くの方が全く変わらない外見で現れ、四半世紀の年月を感じさせずに、あの頃実は……の話を楽しみました。

この企画は同年5月の応援団OB会に集まった者達の会話から始まったのですが、1986年卒の浮かれた景気状態でバラバラになった同期と連絡を取るのには至難の業。準備相談はmixi内で行い、開催案内はメールで友達から友達へと広げ、出欠連絡もWEBメールでと、低負担での開催となりました。

次回は2014年、又いずみ会HPでお知らせ致します。

(大泉高等学校円形校舎にて)



パスポートのいらない英国留学 — ブリティッシュヒルズ —

付属中学では英語教育に力を入れています。その一環として、「パスポートのいらない英国留学」と称して、英語合宿を福島県・天栄村ブリティッシュヒルズで昨年に続き今年も9月に行う予定です。ネイティブな英会話に接するだけではなく、ディナーでマナーを学ぶなど英国文化を体験する合宿になっています。



ディナーの様子



昨年の参加生徒



12世紀から18世紀の建築様式の宿泊棟



★ 毎号同窓生の新しい話題が楽しみです。池上彰氏が同窓と知り驚いております ★ 会報が前より立派で楽しいものになった気がします ★ 私も早や70歳になり当時の友達の健康を心配しながら、また自分の健康を注意しながらの日々。これからも会報を愛読させていただきたいと思います ★ 小生の頃は円形校舎も真新しく、高2からの転校生にとっては驚きでした ★ 「まんぼ会」の活動も活発なご様子で、興味深く読ませて頂きました。新校舎の完成が楽しみです。その機会に42年ぶりの訪問をしたいと思っております ★ 今年で65歳、神戸に移って40余年、会報は懐かしさと呼び起こしてくれます ★ 都立高校定年退職後、趣味のフラダンスを葛飾区、墨田区で教えています ★ 英語夏季特別講座、サークル活動、同期会の報告など楽しさが伝わってきます。56歳ですが、還暦同期会があれば上京して参加したいと思っております ★ 大泉も中高一貫校となり新校舎も完成して今後が楽しみです。来年は母校を訪ねてみようと思っております ★ じっくり読ませていただ

き、なつかしくて同級生に電話してみました ★ 旧友の訃報に接する唯一の情報源となりました ★ 訃報に2名、寄付者欄に4名、これも消息記事か ★ 83歳、まだ現役の医師として診察に従事しています ★ 会報を拝見、戦時中を思いだして泣いています。鬼籍に入る中1の旧友の名が目に滲みます ★ 毎回会報を楽しみにしています。今なお大泉とつながっていられるのはありがたいことです ★ 55号、カラーが多くとても読みやすいと思います ★ いずみ会ホームページで自分の連絡先が不明であることを知りました ★ 大泉高校附属中学の生徒たちの活動ぶりはどんな様子でしょうか。孫のような子どもたちが後輩であることの面白さを感じています ★ 良い学生が泉のように次々と湧き出てくるような学校を、常に支えていく存在でありたい ★ 大泉高校の教師時代に心に残っている「校友の歌」、今でもふとした折に口ずさんでいます ★ 同級生の訃報をみて歳月をしみじみ実感しています。なつかしい日々でした ★ 会員番号が調べられるようにしてほしい ★ 大泉高近辺に散歩に出かけましたが高

いフェンスに囲まれていました。どんな校舎になるのか楽しみです ★ 旧制中学に入り途中で高校になったため6年間お世話になりました。6年間の教育の長所は極めて多く、中高一貫教育を受ける人は恵まれていると思います ★ 旧制大泉中1期生、戦に明け戦に暮れた4年間、20年3月卒業式もなく卒業。往時茫々たり ★ 大泉中の新校舎に移り道路整備をしたことなど、なつかしく思い出しました ★ ほぼ名古屋に定住した自分にとっては母校の動向がわかる唯一のよりどころです ★ 83歳ですが至って健康です。過去にポルトガル語、現在はイタリア語の勉強をしています。水泳はクロール、バックを中心に週2～3回クラブへ通っています ★ 応援団など活動の危機に直面し、柔道部も廃部になりました。いずみ会の後押しが必要だと思っております ★ 土壁塗りを練習しています。土のやさしい表情が大好きです ★ 熊本に住んでいるのでなかなか母校を訪れる機会がありません。大泉高校時代にタイムスリップしたような気持ちになりながら楽しませていただいております。

追悼 ご冥福をお祈りいたします

先生方

教科	現姓	逝去日
英語	佐伯 孜	H21
保健体育	山谷 敬之	H24.4.29
数学	菊谷 義美	H24.08.12

会員訃報 (敬称略)

期	現姓	逝去日
中1期	飯塚 幸隆	H21.6.16
中1期	鈴木 儀夫	H23.7.2
中1期	長野 暢光	H23.1.13
中2期	荒尾 稔	H22.10.22
中2期	猪狩 徹郎	H23.8.17
中2期	片山 達郎	H23.5.1
中2期	白土 昭伍	H21.8.26
中2期	長谷川洋	H22.11.22
高2期	石川 宜	H23.8.18
高2期	綿貫 哲夫	H22.12.5
高3期	諏訪好一郎	H24.3.15
高3期	三川 寿雄	H23.11.29
高3期	水島 廣一	H23.1.31
高3期	宮寺 秀雄	H24.1.19
高3期	吉田 浩	H23.7.22
高4期	後藤 上二	H21
高4期	樽井 義男	H23.5.19
高4期	五十君直道	H22.10.6
高5期	加藤 四郎	H23.4.14
高5期	菅家 元	H24.6.25
高5期	鎌守 昭	H23.2.4
高5期	山田 裕通	H24.7.2
高5期	中静 信子(鈴木)	H23.7.6
高6期	大波 克夫	H24.3.31
高6期	小淵 孝之	

高6期	永田 茂夫	H23.1.3
高6期	東山 義輝	H24.6
高6期	米良 周	H24.2.20
高6期	山中 定子(高橋)	H20
高6期	三須 雅子(藤崎)	H23.10.29
高7期	岩峯 秀夫	H23.2.28
高7期	佐藤 鎮雄	
高7期	中川 滋夫	
高7期	藤原 博	
高7期	藤井 圭子(市川)	H22.12.10
高8期	新井 正晴	H24.3.22
高8期	土屋 靖治	H23.10.4
高8期	山谷 敬之	H24.4.29
高9期	白石 好伸	H23.2.16
高9期	小島 武	
高9期	鈴木登美子(手塚)	H24.2.
高9期	河辺 隆也	
高9期	市木健一郎	H24.7.13
高9期	和田 鷹男	H22.12.25
高10期	本庄 弘	H23.10.12
高10期	安達 忍	H10.12.2
高10期	笹川 俊雄	H23.12
高11期	富澤 稔	H23.8.11
高11期	西上 晴雄	H23.7.18
高11期	羽田 圓城	H24.1.4
高11期	根本 幸次	H24.5.19
高12期	天野 靖介	H22
高12期	小林真佐子(岩井)	H23.3.13
高13期	田中 三良	H23.10.19
高13期	嶋川 及子(中村)	H21
高13期	永野 信行	H23.12.28
高14期	山本 直子(藤本)	H23.9.7

高14期	久米 幸子(菅原)	H24.4.22
高14期	鈴木 慧一	H23.3.20
高14期	篠原 庸雄	H23.07.07
高15期	坂本 紀生	H23.1.13
高15期	巻内 勝彦	H24.1.8
高15期	岩間 正道	H24.4.1
高15期	小沢 純子(宮古)	H24.7.1
高16期	安倍 肇	H24.5.1
高18期	大類 肇子(石田)	H22.12.14
高18期	新井 公夫	H23.6.22
高18期	加古 進	H23.8
高19期	松島 英人	H22.8.18
高20期	川島 文夫	H21.8
高20期	岡田 俊	H.21.11
高21期	南部 俊博	H24.5.5
高21期	松下 信明	H23.10.07
高22期	折手 信之	H23.5.4
高22期	藤山 創	H24.7.17
高22期	矢島 佳子(木下)	H23.3.9
高24期	島田 雅史	H23.4.9
高27期	四方 鉄郎	H24.01.06
高27期	宮館 靖	H23.8.24
高29期	戸田 麻理(鈴木)	H23.3
高29期	種山 知子(片岡)	H21
高31期	志水 数重	H24.7.29
高32期	田中 秀明	
高32期	塩脇 徹	
高32期	山崎 理恵(大久保)	
高35期	小島甲太郎	
高35期	白戸 啓嗣	
高58期	内藤 雅樹	H23.7.31
高59期	新田 匠	H22.9.15

同期会のお知らせ

● 高8期

平成25年4月開催予定です。お楽しみに!

● 高12期

10月12日(金) 午後3時から
新装なった母校新校舎見学

午後4時30分から いつもの「中野サンプラザ」で 会費6,000円

開催案内は、別途往復はがきでも案内します。今年の同期会は第1部(午後3時母校集合)で新校舎の見学会を、第2部のパーティは午後4時30分から7時まで、会場は今年も「中野サンプラザ」です。楽しいですよ。ぜひ出てきてください。

(幹事:板橋 TEL. 042-468-1563
e-Mail: ita-aki@jcom.home.ne.jp)

● 高14期

高14期は卒業50周年です。記念同期会は10月14日(日)日曜日母校訪問も計画しています。

懇親会場は池袋駅近くの第一イン池袋レストラン「ピノ」です。別途往復ハガキでご案内しますので奮ってご参加ください。

総務・企画部よりお知らせ

● 来年度は「3」の期の出番です!

期の一の位が「3」の皆様、来年度は「3の会」として、母校文化祭、いずみ会総会・懇親会でご活躍いただくことになります。つきましては11月18日の総会・懇親会、来年9月の母校文化祭等へ是非お出まじいただき、「3の会」のご準備をお願い致します。

● 同期会開催応援

期の幹事の皆様、いずみ会では同期会開催時に宛名ラベル、名札、名札入れ、のご用意、会報、Webページへの開催お知らせ掲載、校歌、校友の歌のテープ、MDの貸出等のサービスを提供しております。詳しくはいずみ会連絡窓口まで。

● 大泉学園駅前の「いずみ会室」使用申込方法が変わります。

ご利用ご希望の方は、
e-Mail: izumikai@v7.com または
FAX 042-974-2045 へ

①利用希望日時 ②団体名 ③「利用責任者 期・氏名・連絡先」を明記してお申し込みください。

● いずみ会文庫

皆様の著作等、いずみ会へご寄贈いただける場合は、お手数ですが右記いずみ会窓口までご連絡をお願い致します。

● 60周年記念名簿

在庫少々あり。(1冊3,000円)ご購入ご希望の方は振込用紙欄に該当欄がございます。

本年度懇親会会場について

本年度懇親会会場は勤労福祉会館を予定いたしておりますが、変更になる可能性があります。その場合は返信はがきに記入していただきますfax宛にご連絡を申し上げます。よろしくご対応をお願い致します。

いずみ会連絡窓口

ご意見、ご感想、住所変更、いずみ会室利用申込み、サークル問い合わせ等いずみ会へのご連絡は下記までお願い致します。

〒178-0063 練馬区東大泉6-34-30
SKビル305号

e-Mail: izumikai@v7.com

FAX: 03-3925-1486

総務・企画部長 荒井真理子(高20期)

編集後記

素晴らしい新校舎! 写真ではなく自分の目で確かめて。総会はいいい機会ですよ。「母校70周年に協賛して30コマの広告を」と言われ!!”気の遠くなるような話でした。やっとのことで無事“ノルマ”を達成することが出来たのは、ひとえに会員の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。(二宮 靖子)

会報いずみの広告について

【掲載料金】

- 基本料金:1/10ページ 15,000円
- レイアウト料:お任せなら 無料
- レイアウト料:指定 1/10ページ 7,500円
- 地図作成:1件 7,500円

【申し込み先】

いずみ会 荒井真理子

Fax:042-974-2045 Mail:marikohawfinch@ybb.ne.jp

(サンプル1)



広告料 15,000円(1/10ページ)
デザイン料 無料

※ 実際の掲載はすべてカラーです。
いずみ会ホームページをご参照ください。

(サンプル2)



広告料 30,000円(2/10ページ)
デザイン料 0円
地図作成料 7,500円

(サンプル3)



広告料(6/10ページ) 90,000円
地図作成料 7,500円
デザイン料 45,000円

会費納入者一覧(敬称略・平成23年度納入分)

昨年度も多くの皆様に同窓会会費及び寄付を頂き、ありがとうございました。今年度も宜しくお願い致します。今回お名前を掲載しましたのは、次の方々です。

- ① 寄 付 者：平成23年度4月1日から平成24年3月31日までに寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた金額は寄付として扱わせて頂きました)。
- ② 広告提供者：会報いずみ第56号に広告を掲載して頂いた方。
- ③ 会費納入者：昨年度に平成23年度年会費を納入した方。終身会費納入済みの方は赤色で表示。

■ 会費納入のきまりは、

- ① 高校卒業後10年を経過した年度から、満70歳を迎える年までです(今年度は高校54期の方から高校13期の方までが会費納入対象者です)。
- ② 会費は千円です。過去の未納会費には遡及しません。今年度分から頂きます。

会を維持・発展させるためには、どうしても資金を必要とします。今後とも会費の納入・寄付でのご協力を宜しくお願い致します。

ご質問・ご意見がございましたら、次の担当までご連絡ください。
 会計部長 山口達夫(高20期) e-Mail: izumikai@v7.com

寄付者一覧(寄付額千円単位)

【中01】本村禮二(50)、牛山浩一(5)、中井敬(5)、畑井富造(5)、藤井宏(3)、竹田節男(1)、樋田並照(1) 【中03】海老沢實(10) 【高02】中井嘉文(10)、清水靖夫(5)、高田保雄(5)、本田浩章(3) 【高03】仙波義規(5)、瀬戸山毅(3)、五十嵐孝夫(1) 【高04】井口たつ子(3)、森木伸子(1)、安井昇(1)、吉澤修(1) 【高05】小寺正夫(10)、森木宏(10)、高遠宏(5)、松岡五郎(5)、石田要久(3)、川津邦雄(3)、市川悦子(3)、国澤弘(3)、大澤登(1)、大橋陽子(1) 【高06】有田二郎(10)、石井岱三(10)、

大波克夫(10)、礪波英児(5)、篠田敦子(5)、日比野弘(5)、浜野章保(2)、永井満(2)、鴨田博伸(2)、原田清(1)、佐野弘太郎(1)、柚原修(1)、土屋雅春(1) 【高07】菅野伸生(5)、寺本殷昌(1)、池田実(1) 【高08】小川洋子(10)、中山堯(10)、清水真一(10)、二宮靖子(7)、岡崎美代子(5)、橋本玲子(5)、谷治正孝(3)、杉浦五十鈴(2)、石原節子(2) 【高09】戸川敦(10)、深町敏夫(5)、石塚安太郎(3)、鈴木美香子(3)、崎山光俊(3)、柚原美智子(1) 【高10】本橋達朗(10)、田島寛(10)、野口悦子(7)、鈴木京子(5)、藤井英雄(3)、阿部藤子(3)、石本堯(3)、金沢健蔵(3)、田所満一(1)、直井一子(1) 【高11】匿名希望(5)、柴田紀江(3)、吉川方子(1) 【高12】榊原志郎(9)、洪井周而(5)、花村圭一郎(4)、中沢勲(3)、小宮良雄(2)、浅野克実(1)、内田武夫(1)、小野田敦子(1) 【高13】早川淳(50)、中本攻(19)、関直樹(9)、土井秀子(4)、小川義夫(3)、市川杲(3)、風祭一枝(2)、市川敬二(2)、小川尚子(1)、丸山美恵子(1)、竹内洋重(1) 【高14】東信彦(10)、高木登茂子(10)、布施百合子(2)、江幡肇(1)、大串康夫(1)、江幡久仁子(1)、藤富正毅(1) 【高15】森田陸四郎(16)、篠勇(6)、福村滋人(6)、鬼頭照(6)、中島悠美子(5)、水島磐男(5)、中村延江(3)、澤田昌文(1)、渡辺浩通(1)、藤原敏厚(1)、萩原光子(1)、宮田紀子(1) 【高16】吉田昭子(10)、丸山俊章(6)、飯島信枝(5)、串道昭(5)、橋元宏(3)、福島敦子(3)、藤村明子(1) 【高17】大津徳明(10)、堀江悠子(10)、大村敏夫(4)、荒川英幸(4) 【高18】長本孝一(10)、寺島孝(9)、高橋朗夫(4)、根本孝子(3)、小山房子(3) 【高19】佐久間優行(30)、杉浦史樹(10)、上岡一史(10)、吉島一良(5)、百海緑(3)、谷中善男(3)、山田隆子(2)、桜井民雄(2)、田村明子(2)、荒川彰子(2) 【高20】高村衛(8)、山口達夫(5)、野口哲子(1)、山岸明(1)、黒崎輝男(1)、古川真一郎(1)、河野裕(1)、堀恵美子(1)、江崎美治洋(1) 【高21】田辺夏樹(5)、水島かな江(3)、浜田光(1)、有富裕一郎(1) 【高22】阿野和隆(6) 【高23】石川政治(18)、高橋敏彦(10) 【高24】久保田陽子(7)、

祝 大泉高校70周年
新校舎落成

5期の会(昭和28年3月卒業生)

10月19日(金)・新校舎見学会・同期会を予定しています。(ご案内別途)

品川自動車タクシー株式会社

代表取締役 藤森 昭治 (高6期)

〒173-0036 東京都板橋区向原3-10-11
 TEL. 03-3955-3114(代)
 FAX. 03-3530-1723

一般歯科／小児歯科／歯科口腔外科／在宅訪問(往診)

横田歯科医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	／
14:00~18:30	○	○	○	／	○	／	／

練馬区歯科医師会会長・大泉高校校医

横田 惇 (高8期)

〒178-0063 練馬区東大泉5-25-3 TEL. 03-3921-4314

埼玉県消防設備協同組合

理事長 山岸敬司 (高8期)

事務所 〒350-0285 埼玉県坂戸市三光町36-1
 TEL & FAX. 049-284-8119

秋山祐子 (3) 【高25】 中村武夫 (3)、和田達夫 (3)、高橋徹 (1) 【高26】 堀田一郎 (25)、加藤尚子 (3) 【高27】 益村典子 (5) 【高28】 畑弘人 (2)、清水義裕 (2) 【高30】 田中啓子 (1) 【高31】 村山浩通 (10)、高瀬浩和 (5)、矢崎千枝 (1) 【高32】 鎌田政信 (2) 【高33】 三瓶邦子 (1) 【高35】 鈴木啓順 (2) 【高36】 深沢明子 (5)、大久保教夫 (2)、平田勝裕 (2) 【高37】 中村美奈子 (1) 【高39】 池内玲子 (1) 【高40】 阿部律子 (1) 【高41】 福田健太郎 (5) 【高44】 中津留勉 (2) 【高46】 青山成道 (1) 【高49】 山田淳一 (2) 【高52】 渡邊太地 (5) 【高59】 佐田守 (1)

高25期 宮川 修作 (株)東京甲子社
高25期 宇多 正行 宇多法律事務所
高26期 上原 正美 上原歯科医院
高31期 三宅 玉美 本家伴久
OBOG 合唱団
匿名希望 (2コマ頂きました)

会費納入者一覧 (終身会費納入者は赤色)

【高12】 内田武夫、中沢勲、玉石貴代子、浅野克実、小宮良雄、榊原志郎、小野田敦子、花村圭一郎 【高13】 小川義夫、早川淳、武田光昭、吉村剛士、関直樹、中本攻、竹内洋重、土井秀子、丸山美恵子、森瀬彬子、市川敬二、寺島彰由、市川昶、風祭一枝、萩野頼子、星野直子、小川尚子 【高14】 東信彦、木村優子、長峰光子、大恵雅巳、江幡久仁子、永山千恵子、家永武彦、田村誠、布施百合子、高木登茂子、山内睦子、江幡肇、清水靖司、富永恭弘、大串康夫、藤富正毅、藁科彬、神尾庄三郎、神崎隆洋、竹下和雄 【高15】 岡本正典、福村滋人、鬼頭照、巻内勝彦、森田恒正、山賀雅弘、渡辺浩通、檜垣精二、深町明夫、藤原敏厚、水島磐男、森田陸四郎、澤田昌文、平田豊、宮田紀子、篠勇、小野美智子、桑名晏子、浜野広世、岡島聖三、岡崎千代子、中村延江、中島悠美子、萩原光子、山川恭子 【高16】 橋元宏、串道昭、小林知雄、福島敦子、桜井ルミ、吉田昭子、丸山俊章、可知悦子、伊藤美千代、小宮孝昭、清水正子、林恵子、小林茂美、尾池幸、笹目勝子、飯島信枝、三森育子、藤村明子 【高17】 荒川英幸、式田讓、中井新光、中津隈健一、中西四七生、溝田啓一、野崎道雄、鳥本陽子、最上武夫、片倉みつ子、小滝和子、大津徳明、功力義雄、森蒼生子、長谷川隆太、宗像房枝、篠原和雄、菅原宏夫、竹林孝夫、大村敏夫、會正樹、成田俊彦、堀江悠子、會史子 【高18】 伊丹真、岡本豊、寺島孝、中村泉、根本孝子、富永文朗、飯塚美雪、高橋朗夫、大竹文子、本田令子、小池博、川邊智子、設楽公子、山田暁子、小山房子、田中敬一、平井律子、遠藤亮平、長本孝一、間部杉夫、

広告掲載にご協力いただいた方

高05期 高5期一同
高06期 藤森 昭治 品川自動車タクシー株式会社
高08期 山岸 敬司 埼玉県消防設備協同組合
高08期 山岸 敬司 旭ダイヤモンド産業 (株)
高08期 杉本 敏子 北野神社
高08期 横田 惇 横田医院
高08期 新実 雅子 にいみ薬局
高08期 高8期一同
高09期 矢島 駿一郎 矢島不動産管理
高13期 田中 昇次 レイセントコンサルティング
高13期 中本 功 中本法律事務所
高14期 神崎 隆洋 神崎建設株式会社
高14期 草薙 正明 アムトランス (株)
高14期 高木 登茂子 高木自動車
高15期 久保田 繁 久保田産婦人科病院
高17期 円 より子
高18期 高18期同期会予告
高18期 築根 吉彦 築根医院
高18期 渡部 暢康
高18期 伊藤 圭子 いたう小児科
高21期 築根 照英 日産緑化株式会社

— 消防設備工事・保守管理 —

旭ダイヤモンド産業株式会社

取締役会長 **山岸敬司** (高8期)

〒357-0043 埼玉県飯能市前ヶ貫181-2

TEL. 042-973-4616 FAX. 042-973-4651

学問の神さま 大泉天神 北野神社

最寄り駅 西武池袋線「大泉学園駅」(北口) 徒歩3分

試験合格、初宮詣、七五三詣、家内安全、厄除け
安産祈願、病氣平癒、長寿祝い、旅行安全、地鎮祭、
新居清祓、等々

練馬区東大泉4-25-4 (大泉小学校となり)

TEL. 03-3922-6248 (※ご祈祷の際はご予約をお願い致します)

祝 大泉高校70周年 新校舎落成

母校のますますの発展を祈ります

高校8期同期会

♪ 貴方も一緒に歌いませんか ♪

大泉高校OB・OG合唱団

- 練習 月2回 金18:00~20:00
- 会費 月1,000円位
- 場所 勤労福祉会館(大泉)

連絡先 小熊坂滿邦(8期)

Tel & Fax. 03-3929-4450

石田真一、加藤一夫、小島高志、蓮江和夫【高19】谷中善男、平間保枝、田村明子、荒川彰子、市川秀秋、上田和子、仲谷順、井上康子、東照子、山田隆子、米内洋子、花満恵美子、伊藤陽子、堀尾幸晴、中根美穂、国貞明良、塩沢広、百海緑、常木小由子、望月典子、上岡一史、桜井民雄、佐久間優行、杉浦史樹、濱田國夫、眞峯隆義、稲垣正久、上杉直、米元純三、佐藤文好、諸沢孝、春日昭、吉島一良【高20】三間孝子、吉田洋子、荒井真理子、高橋みさ子、高梨妙子、木村祐子、池田練太郎、井出真理、高木康仁、藤井律子、神戸和子、藤井みすず、尾崎彰夫、溝口俊一、丸岡恵子、土肥暁美、木村徹、佐倉純子、日浅泉、渡辺緑、井上幸夫、堀恵美子、田中克子、井口和子、藤本万里、牧川真理子、尾形ますみ、小山田香子、後藤健二、小林憲一、田原寿夫、塚田直樹、登坂薫、山口達夫、浅香保、芦塚薫、岡本謙蔵、河野裕、高村衛、並木雄平、古川真一郎、江崎美治洋、佐藤博、田中憲太郎、上田敬一、黒崎輝男、藤本均、山岸明、野口哲子【高21】伊奈佐和子、清野佐津紀、梶浦一高、大瀬由美子、竹内信子、廣井真紀子、小野能民、百瀬勝、青木真理子、奥野順、橋高修、前原薫、武藤隆、戸谷典子、鍋島三穂、長田宣治、伊吹伸安、牧真一、大塚あけみ、酒見知加保、築根照英、浜田光、本橋豊、山下俊男、島崎多美子、渡辺万知江、田中潤一、水島かな江、大矢彰、島田道明、田辺夏樹、水

島清隆、宮路研一、齋藤晴子、有富裕一郎、片山茂人、伴野保志【高22】高橋健一、阿野和隆、土田喜久雄、柳田卓、北本雅子、千葉創、石井和雄、岩浪秀夫、肥沼年光、小張良一、原隆弘、山上富貴子、山本君枝、平野京子、杉山真理子、齊藤弘子、渡辺哲伸、米元通子、加藤重樹、須藤英一、後藤順子、石川達二、平井秀明、武藤陽子【高23】山越亘、藤沢康司、御厨健史、宮田龍、石川政治、力郁朗、小林安夫、高橋敏彦、須田俊子、野口茂、高谷百合子、野村由紀子、正森敬司、御厨妙子、福田陽子、金子優子、秋山美保、大内寿子、矢部政子、佐藤豊、齊藤尚子、三島啓子、福島まゆ子、篠崎郁子【高24】鈴木修、秋山祐子、若井孝之、岩崎直子、柳知子、高橋真基、久保田陽子、水越千恵子、諸星悦子、檜山博子、石原信和、田中成子、遠藤淑恵、宮野厚子【高25】今村計、永井宏、中村武夫、和田達夫、佐倉弘持、土井悦郎、中村武義、仲田由美子、剣持孝吉、岩井千生子、功刀純子、上田佳代子、戸松英子、風巻清英、石上敦子、久野千秋、小山千鶴子、高橋徹【高26】鈴木信吾、堀田一郎、吉川真広、小堀宏、白石泉、遠藤剛史、平野弘道、加藤尚子、清水直子、阿部正宏、木村武彦、西山哲、河村裕志、園田真理子【高27】浅井俊治、荒賀康徳、波川慶亮、諏訪峰子、大久保高秀、益村典子、堤香代子、元西恵子、早川由美子、松原繁子、相原裕美、印南明彦、神山正行、酒井いずみ、渡辺義子【高

中本総合法律事務所

住 所：〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5
 アークエグゼクティブタワー S602号室
 代表電話：03(3568)7600
 ファックス：03(3568)0891
 E-mail：osamu.nakamoto@lonkmt.com



にいみ薬局

新実雅子 (高8期)

東京都小金井市梶野町5-8-27
 TEL. 042-383-2858

～ 不動産 賃貸・売買・管理 ～
株式会社 矢島不動産管理
 西武池袋線「江古田駅」南口徒歩1分

代表取締役 **矢島駿一郎** (高9期)

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-75-12 ヤジマビル1F
 TEL：03-3953-3446 FAX：03-3565-2103
 MAIL：info@realestate.ne.jp

カンザキ建設 — 本物素材『無垢の木と漆喰の建築』

HiNOX
 ▼本社モデルハウス

現在21版 ベストセラー (基本編) **いい家は 無垢の木と漆喰で 建てる** ダイヤモンド社刊

現在21版 ベストセラー 続編 (実証編) **いい家は 無垢の木と漆喰で 建てる** ダイヤモンド社刊

基本編の 文庫本 (文庫本) **いい家は 無垢の木と漆喰で 建てる** 文藝春秋刊

全国の図書館、および有名書店に有ります。神崎隆洋著(一級建築士 代表取締役)

神崎建設株式会社 03-3397-1150 www.hinox.net

本社モデルハウス 内覧会のご案内
年中無休
 (年末・年始 お盆を除く)
AM10:00~PM6:00
 どうぞ、お気軽に 遊びにいらして下さい。

〒167-0035 東京都杉並区今川13-20-5
 ●資料のご請求はお気軽に。



28] 新井武、畑弘人、木植義介、木元弘、鯨井寛司、根立隆一、亀田政弘、坂東庸子、津浦たか子、松岡桂子、清水義裕、鈴木亮、月岡淑枝、伊能圭子【高29】加藤健次、宮島梯男、山本耕三、吉岡幹夫、垣花千春、中村真二、天沼邦彦、永岡敬、野田由男、渡邊敏明、谷嶋牧夫、大石憲司、蟹江慶子、関根明子、宮内和子、石井秀樹、松崎義隆、若林るみ子、大久保靖、野口嘉明、野村均、天沼道代、大久保小舟、今村千恵、加藤徳治、杉山正樹、村井公樹、尾首容子、馬場真寿美【高30】柄脇弘人、大坪由佳、高島朗、滝沢清児、嶋田久美子、児玉恵、鶴名山裕明、片桐俊明、中雅子、横山はるみ、船津毅、谷口由佑子、大島寛治、戸辺明美、河地尚之、榊宣宏、佐野康世、田中啓子、飯澤紅美子、木村安気子【高31】飯村敦彦、尾崎一、村山浩通、高瀬浩和、竹中文字、塩田容子、矢崎千枝、山口順子、高塩雄一、玉虫葉子、水上智子【高32】中村聡美、渡辺芳則、渡辺徹也、志波博幸、鎌田政信、森谷幸、中村由佳理、奥野直美、小倉扶美子、高柳茂宣、柴崎由紀、武田雅雄、星典子、杉浦智恵、昇多加代【高33】寺山雅博、小川京子、高野尚彦、寺田勉、練馬洋、近藤直子、小野寺妙子、矢口秀哉、重松江梨、三瓶邦子、片山成美、本田幸彦、塩崎裕子、竹内裕子、古川存彦、市岡宗人、伊藤由香里、山名貴美子、坂本京子【高34】浦野純司、木村智寿、望月佐知子、浜真弓、十時美智子、井上雅之、

竹内恵子、香東久美子、伊藤佳子【高35】千葉太郎、三好智里、小原一晃、瀬谷賢一、吉田優子、馬場靖代、鈴木啓順、伊藤尚美【高36】谷口浩之、関矢真理子、深沢明子、佐藤直子、和田ゆかり、菊池秀隆、吉澤直子、長尾美樹、大久保教夫、平田勝裕【高37】中村美奈子、清家正博、高橋卓、山下明人、横田理彦【高38】三好知美、元田慎子、堀口陽子、森谷修、北川加世子、坂田光平、北川晋【高39】池内玲子、長谷川あずさ、岩田祐子【高40】高沢ゆき、阿部律子、熊崎義紀、松成以知子、岡本浩美、後藤辰男、山村哲【高41】大橋徹也、加藤康史、福田健太郎、増岡博史、茂木勝郎、坪内洋輔【高42】加藤悦雄、井上理香、尾田一郎、竹内比美子、金子成雄【高43】匿名希望、加藤憲、嘉永領【高44】中村真理、三井智恵、笠井理絵、高村優理、中津留勉、土田久美子【高45】山口恵里、竹内健一、田邊有紀、山本由貴子、古川理枝子、橋本圭子、木戸貴光、佐野正一郎、白井久一【高46】中島美千子、中丸純平、加納晴子【高47】辻川浩史、小林弘明、藤原一誠、久世濃子、青木剛、加納武明【高48】大野太郎、平沢昭洋、杉山学【高49】増子憲太郎、成田幸代、山田淳一、白井里奈【高50】竹田克也、大矢愛、板沢美沙子、林大亮【高51】前田龍哉、宮前充代【高52】三浦峻介、渡邊太地、斎藤未帆【高53】白井陽子、西敬徳、藤宏明【高59】佐田守【高60】比護大介【高62】西村雅人

 **マネジメントシステム構築**
のお手伝いをします
ISO 9001/14001/TS16949/13485/9100
レイセントコンサルティング(株)
〒220-0011 横浜市西区高島2-19-12 横浜スカイビル20F
URL: <http://www.rascentgroup.com>
e-mail: shoji.tanaka@rascentgroup.com
いずみ会 13期 田中昇次

電子部品(抵抗・コンデンサー)の開発製造と販売。
及び、真空管販売22年、累計40万本の実績。
確かな品質管理と適正価格。
アムトランス株式会社
代表取締役 **草薙 正朗** (高14期)
本社/〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-10-14
ばんだいビル2F/1F オーディオショップ「オーディトリウム」
Tel: 03-5249-0301 / Fax: 03-5296-0302
AMTRANS・<http://www.amtrans.co.jp>

第一法規 一八九〇円 (税込)
女と通貨と政治文化
「失われた20年」の真相に迫る!


まどか **17期卒業の前参議院議員 円より子の本**
ジャーナリストを経て1993年7月から2010年7月まで参議院議員を務めた円より子さんが書いた40冊の本から選んだ2冊の本。少子高齢社会と忍び寄る世界不況をどう乗り切るか。ぜひお手におとり下さい。
お問い合わせ先 円(まどか)より子事務所
〒102-0082 東京都千代田区一番町4-42 一番町IIビル6F
TEL: 03-3261-1835 FAX: 03-3261-1836
info@madoka-yoriko.jp

ミネルヴァ書房 一八九〇円 (税込)
子どもとキャリア
どっちもほしい
欲張って生きてもいいじゃない


わすれないでつづけよう 復興支援
元気なニッポン取りもどそう
車のことなら何でも
高木自動車代表取締役
高木登茂子 (高14期)
〒353-0001 埼玉県志木市 TEL. 048-473-0039


祝 母校創立70周年
高校18期 同期会開催
2012年10月14日(日) 14時~16時30分
池袋駅西口「港 MINATO」
(2次会:池袋駅西口「ライオン」16時45分~18時45分)
幹事代表:伊藤芳弘 (TEL. 080-3481-1801)
詳細案内 <http://homepage3.nifty.com/izumikai2/new/reunion/20120423K18.pdf>

築根クリニック内科・放射線科

〒177-0053 東京都練馬区関町東1-22-11

院長 築根吉彦 (高18期 野球部)

診療時間 9:00~12:30 15:30~19:00
(土曜日 9:00~13:00)

休診日 水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日
TEL. 03-3928-7868

駐車場あり
各種保険取扱
最新型X線テレビ
マルチヘリカルCT等
設備

都市を緑に 緑溢れるエコ社会

日産緑化株式会社

<http://www.nissanryokka.co.jp>

取締役社長 築根照英 (高21期 剣道部)

造園・土木工事、屋上緑化・壁面緑化、緑のカンピオ・ブ、個人邸の庭、エスティア・ガーデンニング 資材販売等

本社：〒101-0047 東京都千代田区内神田3-16-9 ☎03-3256-4031
支店：東京(北区)、多摩(八王子市)、千葉(千葉市)
埼玉(久喜市)、名古屋(名古屋市中)、大阪(堺市)

売買代金・請負代金等の金銭問題／交通事故等の損害賠償／不動産取引・登記・借地・借家等不動産／相続・親族問題／破産申立等倒産処理／その他民事一般

宇多法律事務所

弁護士 宇多正行 (高25期)

〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目17番1号 富士見坂ビル4階
TEL. 03-3943-0571 FAX. 03-3943-0572
E-mail att-uda@eos.ocn.ne.jp



栃木県日光市湯西川温泉
創業1666年
時空を超えた癒やしの宿

本家伴久

三宅(伴)玉美 (高31期)

<http://www.bankyu.co.jp/> TEL. 0288-98-0011

高18期 渡部暢康 漆芸展

2012年10月31日(水)～11月5日(月)
11:00AM～7:00PM (最終日5:00PM)

ギャラリー おかりや

〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-5 TEL. 03-3535-5321
<http://www.g-okariya.co.jp>

工房：〒928-0005 輪島市大野町西ヶ平7-6
Mobile：080-1956-1554 E-mail：sugurume@ybb.ne.jp

コロスキン



透明な被膜で傷口をガード!
小切り傷、すりきず、さかむけ、あかぎれに!!
容量：11ml
希望小売価格(税込)：924円

株式会社 東京甲子社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-10-9
TEL. 03-3862-4081 FAX. 03-3851-5765
代表取締役社長 宮川修作(高25期)

小児歯科／矯正歯科／歯科一般

上原歯科医院

日本歯科大学附属病院 臨床教授／小児歯科専門医

歯学博士 上原正美 (高26期)

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北6-16-17-2階
(練馬区役所西庁舎南入口正面)
TEL. 03-3557-1180 <http://www.uehara-shikaiin.com/>

医療法人社団ふた葉会 いとう小児科

診療科目：○小児科 ○内科 ○小児皮膚科 ○循環器内科
○予防接種 ○乳幼児健診 ○乳幼児の栄養指導

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	/
予防接種・乳幼児健診	△	△	△	/	△	/	/
14:00～15:00							
15:00～17:30	○	○	○	/	○	/	/

〒187-0003 東京都小平市花小金井南町2-21-7
TEL. 0424-65-2288
最寄駅：西武新宿線『花小金井』駅 徒歩3分



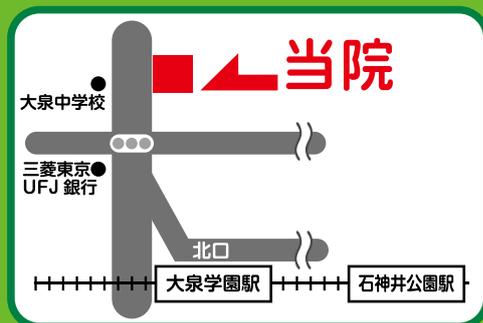
産科・婦人科・不妊相談

救急指定
母体保護法指定
医療法人社団

久保田産婦人科病院

小児科(月・水・金)PM2:00～3:30 大泉学園駅北口徒歩5分

TEL 03-3922-0262 <http://kubota-hosp.jp/>



11月18日(日)いずみ会総会・懇親会のご案内



にこにこにっこり！ 大泉！！

— 新校舎でスタート —



今年完成した新校舎。案内付きの見学ツアーを行います。解体作業中の旧校舎もまだ見学できるかもしれません。学び舎の変遷を見届けつつ、思い出を語り合ってください。



創立70周年を迎える母校大泉。中高6学年が揃い、新たな歴史を刻む第一歩を新校舎でスタートした母校大泉。懇親会ではいろいろ祝って鏡割りもします。今年は「2の会」が企画運営しました。みんな笑顔で集いましょう。

とき 2012年11月18日(日)

ところ 定時総会：母校 13時00分～15時00分
(受付開始 12時30分)

懇親会：勤労福祉会館(予定) 15時30分～17時30分

会費 3000円(ただし59期～64期は1000円)

★ご出欠(その他の連絡)は会報同封のハガキで10月31日までに
ご返送ください。(会場変更の場合はご出席の返信をいただいた方へ
ご連絡を差し上げますので、出欠の欄にFAX番号をご記入下さい)。



1の位に「2」のつく期の皆様、2012年は「2の会」
として活躍の年です。文化祭ではいずみ会として、
今はなき部活動紹介や42期を中心としたプロの作
品展示をしました。特に11月18日の総会・懇親
会には多くの方にご参加いただき、いずみ会を盛
り上げて行こうではありませんか！

高12期 荒井亮三

高22期 花澤亮司、河北康子、鳥山由貴子、石川達二、
平井秀明

高32期 小沢紀子、小倉扶美子、小泉成実、樽美智代、
昇多加代、鏑田政信

高42期 吉田夏代子、倉田貴史

高52期 渡邊太地



いずみ会会長 高津幸一(高13期)

「2の会」会長 肥沼年光(高22期)